十九の春（ワルツ）

KOZA75

本調子

Ver S.1.0

四	中	工	六	工	中	四	中	工	六	工	中
合	四	工	四	工	四	合	上	中	合	中	上
あ	た	し			が	あ	な	た			に
四	中	工	合	四	五	工	合	四	五	工	合
ほ	れ	た			の	は					
中	合	中	工	中	合	上	中	工	合	四	工
ちょう				ど		じゅ	う	く			の
中	工	上	合	上	工	四	上	中	工	五	七
は	る	で			し	た					
乙	四	上	中	工	五	七	四	五	四	工	四
あ	れ	か		ら		い	く	と	せ		
中	上	四	合	四	五	工	合	四	五	工	合
す	ぎ	た			や	ら					
中	合	中	工	中	合	上	中	工	合	四	工
つ		の		る		ば	か	り		の	
中	工	上	合	上	工	四	中	工	六	工	中
こ	の	お			も	い					
四	中	工	六	工	中						

十九の春（ワルツ）　ＫＯＺＡ７５　本調子　YOi SiO

一、あたしがあなたに惚れたのは　ちょうど十九の春でした　あれからいくつとせ過ぎたやら
募るばかりのこの思い

三、あなたあなたと呼んだとて　あなたは何処の空の下　山を押しのけ海を超えあなたの胸にすがりたい

五、あなたの夢見て目が覚めて　戸打つ音に外へ出た　意地悪夜風が闇を抜け　空にゃ月が照るばかり

二、一銭五厘の葉書さえ　千里万里と旅をする　同じ日本に住みながら　何も知られん身の辛さ

四、この身は傷つき汚れても　恋する思いは汚されぬ　流れる月日もよす波も　初恋ばかりは消せやせぬ

六、奥山育ちの鶯は　梅の小枝で昼寝して
花の咲くような夢を見て
ホーケーキョ・ホケキョと泣いてます
ホーケーキョ・ホケキョと泣いてます